

<日本の谚语> - 趁热打铁 -

铁是坚硬的事物，加热它的话会变软，施加力量可以改变它的形状。

一般说来，人在年轻的时候考虑事情有柔软性，年纪大了后，“头脑变的僵硬”（不通融）。因此，这个谚语是说“趁着年轻好好学习，向困难挑战，从而对以后的人生会有意义。”

说是年轻的时候的许多经验，能为以后的人生储存大量的粮食，对于正在积累经验的中途者来说，因为艰辛的事情、不能理解的事情而灰心丧气的人也许很多。

但是，能够克服并超脱这些困难的原因也是正因为年轻。因此，我认为在年轻的时候希望有那种什么都想学、想法很多，不要害怕“锻炼”。

“趁热打铁”中的“热”字，不仅仅表示温度高，也表示“热情的气势”、“灼热的目光”等、表示关心的状态和情感高扬的意思，“正是在事物受到关注、或正在演变成问题的时候，更应该立即处置。”“不要让机会溜走”的主旨也反映在这谚语里。

最近，不擅长英语的日本人到海外出国旅行，刚一回家就开始学习英语，这被称作“成田(机场)的决心”，这也许可以说正在实践着“趁热打铁”这个谚语。

<日本のことわざ> - 鉄は熱いうちに打て -

鉄は硬いものですが、熱すると軟らかくなり、力を加えると形を変えることができます。

一般的に人間は若い頃にはものの考え方に柔軟性がありますが、年を取ると「頭が硬く」（融通が利かなく）なると言われます。そのことから「若いうちによく学習し困難なことにも挑戦することがその後の人生に有益である」とこのことわざは語っています。

若い頃の色々な経験がその後の人生の大きな糧となると言われても、経験を積んでいる途中の者にとってはつらいことや納得がいかに落胆することも多いでしょう。

しかし、それを乗り越え、はねのけていけるのもまた若さなのです。ですから、若いうちは何事も勉強と思いたくさん「打たれる」ことを厭わないでほしいと思います。

「鉄は熱いうちに打て」の「熱い」という言葉には、温度が高いという意味だけではなく、「熱い気持ち」「熱い眼差し」など、関心を持っている状態や感情が高まっている状態を表す意味もあり、「物事はそれが注目されていたり問題になっている時にこそすぐさま処置を講じる」「機を逃すな」という趣旨もこのことわざにはあります。

最近の言葉で、英語が苦手な日本人が海外旅行に出掛け、帰ってきた途端に英会話を習い始めることを「成田決心」と言ったりしますが、これはまさに「鉄は熱いうちに打て」ということわざを実践していると言えるかもしれません。